

公募事業報告集

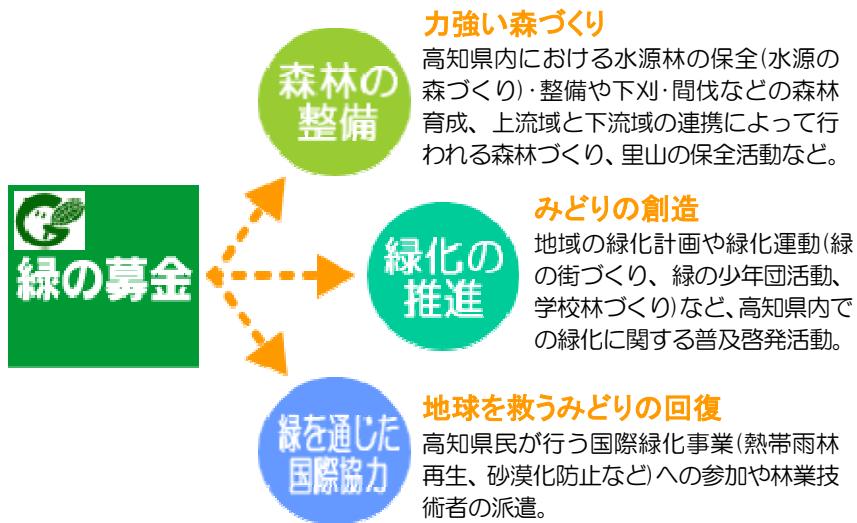
【平成21年度】



公益社団法人高知県森と緑の会

はじめに

緑の募金事業は、緑のボランティア活動を支援し、国民参加の森林づくり運動として展開することにより、国内はもとより地球規模で森林づくりを進めることを目的として、平成8年以降「緑の募金法」に基づき、全国で、森林の整備、緑化の推進、緑の国際協力の3分野の事業を実施しています。



高知県では、公益社団法人高知県森と緑の会が「緑の募金」への寄附を募り、その管理運営を行っています。寄附いただいた「緑の募金」は、高知県内での活動に使われており、その内の4割程度が各団体等の行う地域に密着した森や緑に関わる公募事業に使われています。

平成21年度の公募では、23団体から23件の申請がありました。初めて申請した新規の団体が11団体であり、公募事業への新しい団体の要望が多い年度でした。

しかしながら、近年の高知県の厳しい経済状況の中、公募事業の原資となる緑の募金自体の収入は、前年度実績は過去最低となりました。地域での取り組みを支援したいものの、募金額が低いという現状でしたので、運営協議会の意見を聞きながら、事業の実施に無理がないよう7割程度の減額査定で、21団体に総額461万円の交付決定をいたしました（実績は438万円）。

ご協力いただいた方や関係者に対して緑の募金の成果を報告し、緑の募金の意義や役割を認識していただくことは、今後の募金活動を維持・発展させていくうえで大変重要です。そこで、毎年度、この実績報告集を作成し、関係者に配布するとともに、当会ホームページで掲載し、各事業概要についてご紹介しています。県内の団体の皆さんにおかれましては今後の活動の参考にしていただくとともに、県民のみなさまの緑の募金への理解の一助になれば幸いです。

今後とも、緑の募金へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

なお、平成20年度まで公募事業として募集していた「地区・支部実施事業」については、当会が公益社団法人に移行したことによって、直営事業の中で予算配分を行うこととなりましたので、報告書への掲載は省略させていただきました。

[目 次] -----

平成21年度緑の募金公募事業一覧表 4

アジロ自然の森整備事業（森林の整備） 6

鳶ヶ池中学校学校林を活用した森林環境教育（緑化の推進） 7

森林の整備 -----

松林再生事業 8

妙見山森林復元事業 8

ふれあい 21 世紀の森づくり事業 9

環境学習林「すくすくの森」における林内整備 9

四万十流域間伐推進事業 10

ふるさとの森づくり事業 10

緑化の推進 -----

むろと2000本桜の会 桜育成事業 11

高知子ども森林インストラクター養成講座 11

みんなでやろう 自然再生の取り組みを～三嶺山系シカの被害防止活動～ 12

森の仕事発見学習 12

布師田ふれあい広場整備事業 13

高ノ森の宝の山を守る会記念植樹 13

バイオ資源で地球を救おう！(四国のでっぺんから MOTTAINAI を発信！) 14

日高村総合運動公園周辺等植樹事業 14

横倉山のヨコグラノキから学ぶこと 15

浦分地区的緑化 15

森と水のふれあい教室 16

つつじの植樹 16

[表紙写真]

左 : 高知子ども森林インストラクター養成講座／高知子ども森林インストラクター養成講座運営員会

右上 : みんなでやろう 自然再生の取り組みを～三嶺山系シカの被害防止活動～／三嶺の森をまもるみんなの会

右下 : 横倉山のヨコグラノキから学ぶこと／横倉山自然の森博物館友の会

平成21年度緑の募金公募事業概要一覧表

番号	地区	事業名	団体名	実施場所	事業概要	団体の所在地	実績額	交付決定額
【森林の整備】								
1	安芸	松林再生事業★	(新)脇地常会	室戸市元脇地(国道55号線沿い北側の山林(延長約470m))	かつて元脇地海岸一帯には黒松が植えられ、防風・防潮林として保護されていたが、国道55号線建設時に伐採され、保安林の指定も解除された。この度、防災・環境・景観保護の観点から松林の再生が行われることになり、3月22日に地域住民等90名が参加して850本の抵抗性クロマツを植栽した。	室戸市	409,000	476,000
2	安芸	妙見山森林復元事業	共生森の会	安芸市穴内スス原「妙見山」(実施場所は市有林)	安芸市「妙見山」で自然の森を回復させ、未来に役立つ「千年の森」づくりに取り組むため、雑草の生い茂る0.5haを下刈り・根の除去・穴掘り・シカ避け柵の修復等、植樹に向けて事前の整備作業した。5月31日の植樹行事では参加者16名が、ケヤキ、アカマツ、クリ、モミジ等、17種類の木を333本を丁寧に植栽した。	安芸市	200,000	200,000
3	中央東	ふれあい21世紀の森づくり事業	(新)物部川21世紀の森と水の会	香美市物部町ヒカリ石国有林と別府山国有林	森・川・海の連携による流域再生の取り組み・連携を更に強固なものにするため、大切な森を守り育てる活動をとおした環境教育の推進と流域の一体化をすすめることを目的とし、①植樹体験を3月21日、②間伐体験バスツアーを11月14日に流域関係者(JA土佐香美、国土交通省、高知工科大学生等)の参加のもと実施した。	香美市	300,000	300,000
4	中央東	おおなろ野外活動の森づくり	おおなろ野外活動の森づくり実行委員会	高知市おおなろの森	地域住民を中心に身近な環境の改善運動に取り組み、大人から子どもまでが自由におおなろの森の中を散策できるよう、下刈りや間伐の実施、児童への自然の良さの普及活動を行う予定だったが、事務局体制が整わず中止となった。	高知市	中止	60,000
5	中央東	アジロ自然の森整備事業	(新)アジロ山の自然と環境を守る会	県有地アジロ山周辺(高知市朝倉字アジロ山1152番24号)	県有地アジロ山(高知市朝倉己)は、不法投棄等のゴミ問題を抱えているが、都市住民の身近な自然体験の場所として、四季折々に親しむことのできる「市民の憩いの場」をつくるために、4月5日に子どもを含む地域住民ら50名で桜や紅葉等160本を植栽し、5、6月で3回森を一巡できる遊歩道を整備した。	高知市	350,000	350,000
6	中央東	環境学習林「すくすくの森」における林内整備	(新)学校法人若草幼稚園	環境学習林「すくすくの森」(高知市朝倉字鏡岩己1163-26、学校法人若草幼稚園所有)	すくすくの森の間伐及び間伐後の処理(堆肥化)を行うことで、保護者の協力を得ながら、園児や大人が入林しやすい、明るい森林環境整備をおこなって植物の多様性を高め、堆肥化することで自然の環境(物質循環)を学べる環境づくりを行った。	高知市	222,000	235,000
7	須崎	四万十流域間伐推進事業	四万十樵塾	四万十町(旧大正町)	四万十川流域において、ボランティア団体の活動の場とし、四万十森林管理署と協定を結んだ「市ノ又ふれあいの森(21.58ha)」で1.1haの間伐を実施した。(平成16年度から5年間公募事業を活用して森林の整備として間伐を実施してきた。今後は独自に活動を進めていく予定。)	四万十町	64,000	100,000
8	須崎	ふるさとの森づくり事業	高知葉山会	高岡郡津野町北山地区(風車足下)	ふるさと葉山のために、会員が主体となって、風力発電・林道開設に伴い発生した残土で埋め立て造成された津野町北山地区の土地へ、4月19日に参加者、津野町長を含め30名で記念植樹を開催し、「ふるさと葉山の森づくり」を行った。	高知市	350,000	350,000
8団体8件							1,895,000	2,071,000

【緑化の推進】

1	安芸	むろと2000本桜の会 桜育成事業	むろと2000本桜の会	室戸市広域公園	室戸広域公園を桜の名所と市民の憩いの場にすることを目指して管理しており、平成16年2月に1600本植樹した後補植した合計約1650本の桜を維持するため、草刈りや施肥等、作業を4~10月の間にのべ10日実施した。	室戸市	200,000	200,000
2	中央東	「高知子ども森林インストラクター養成講座」(第8期)	高知子ども森林インストラクター養成講座運営委員会	香美市(おもに情報交流館)	子ども達が森林に理解を深め、学校や地域の森林学習においてリーダーに養成することを目的とし、月1回程度の講座(定期講座及び番外編(キャンプを含む))を実施。講座は体験型で、その前後に座学を行い、森林環境・生態に関することと木の有効利用に関する体験しながら学んだ。	香美市	270,000	270,000
3	中央東	みんなでやろう自然再生の取り組みを～三嶺山系シカの被害防止活動	(新)三嶺の森をまもるみんなの会	香美市奥物部三嶺系	ニホンジカによる食害で危機に立つ三嶺の森を守り、後世に豊かな自然を残すために、行政とも協力して取り組んだ啓発活動。国(四国森林管理局・環境省)、県、流域3市、国土交通省、諸団体と力を合わせて植生防護柵と幹へのネット巻きを2回実施した。参加者は①4月11日105名、②5月30日161名。	香美市	270,000	270,000

平成21年度緑の募金公募事業概要一覧表

番号	地区	事業名	団体名	実施場所	事業概要	団体の所在地	実績額	交付決定額
4	中央東	鳶ヶ池中学校 学校林を活用した森林環境教育	(新) 南国市立 鳶ヶ池中学校PTA	鳶ヶ池中学校学校林	鳶ヶ池中学校の各学年における演習林及び森林環境教育活動に取り組み。1年生は学校で森についての学習とツリークライミング、学校林1日訪問・雑木の除伐作業を体験した。2年生は高知県森林総合センター情報交流館にて環境学習を行った。中学校3年生分は南国市が負担(1泊2日の学校林活動)。	南国市	220,000	220,000
5	中央東	森の仕事発見学習	高知県林業改良普及協会	香美市土佐山田町繁藤上穴内溝渕林業作業地 甫喜ヶ峰森林公園	森林・林業(山)での作業現場(仕事)や森林の構成状況と環境への役割りについて学習するために、甫喜ヶ峰森林公園及び繁藤穴内川上流において、森林の仕組みと役割や森と水のつながり、樹木観察、高性能林業機械による山での作業見学等「森の仕事」を、親子等30名が参加して発見学習を行った。	高知市	82,000	94,000
6	中央東	布師田ふれあい広場整備事業	(新) 布師田の未来を考える会	布師田ふれあい広場(高知市布師田1647)	布師田地区コミュニティ計画として住民組織が進めている「子どもたちから高齢者まで幅広い年齢層が集まる広場づくり」して、間伐材を活用した東屋のテラスと看板を高知工業高校の生徒達の協力を得て5月に作りはじめ、7月3日に完成した。間伐材の有効利用をとおして森の大切さへの意識が高まった。	高知市	269,000	270,000
7	中央東	高ノ森の宝の山を守る会記念植樹	(新) 高ノ森の宝の山を守る会	高ノ森(高知市)	高知市旭地区の小学生が、環境学習をとおして芽生えた「自分達の宝の山である高ノ森の環境を守りたい」という自発的な想いや活動を守り育てるために、小学生192名(旭小学校5年生と横内小学校6年生)と保護者・地域住民合わせて260名が桜の苗木を植樹し、高ノ森の環境づくりを行った。	高知市	157,000	166,000
8	中央西	バイオ資源で地球を救おう!(四国のてっ�んからMOTTAINAIを発信!)	土佐の森・救援隊	いの町本川長沢「未来の森」	次世代の環境保全を担うべき小学生に、もったいない運動を身近に楽しみつつ理解してもらうため、10月10日、1日林間学校を行った。内容は、森の活用としての木材の有効利用等の森林環境学習や、間伐、ケヤキとイロハモミジの植樹、林地残材集積・搬出作業、間伐材のマイ箸づくり等、各種体験をしながら研修できた。	いの町	165,000	200,000
9	中央西	日高村総合運動公園周辺等植樹事業	(新) 日高村グラウンドワーク推進協議会	日高村総合運動公園周辺	日下川調整池に隣接する日高村総合運動公園にて、11月29日イロハモミジ36本(高さ2m)の植樹を行い緑化を推進するとともに、日下調整池と一体的な環境整備を図った。会員、地元住民と小学生18名が協力して植樹を行い、植樹後は公園でカヌー体験をする等自然と親しみだ。	日高村	100,000	100,000
10	中央西	横倉山のヨコグラノキから学ぶこと	横倉山自然の森博物館友の会	越知町横倉山	牧野富太郎博士が発見・命名したヨコグラノキや豊かな植物層を生んだ横倉山の地質の観察会を地元小学生達と開催。その中で、遊歩道沿いの木の根の保護をする腐葉土の散布や学校で育てるヨコグラノキの種の採取も行った。また、ヨコグラノキ等の説明をする看板を2基設置し、地域から山や緑の大切さを発信した。	越知町	196,000	196,000
11	須崎	浦分地区の緑化	(新) 興津浦分部落会	四万十町興津浦分興洋公園	四万十町興津「浦分興洋公園」にヤマモモ60本と桜100本の植樹を4月10日、地区住民37名が参加して実施した。この公園のグラウンドは、地域の人口の減少で今では使われない、草刈り等の管理が必要となつたため、地域の憩いの場となる木を植えることで、今後の地域行事で使用していく。	四万十町	218,000	218,000
12	須崎	森と水のふれあい教室	母なる大地四万十の郷 水と森を考える会	各市町村森林組合(幡東、四万十中央、大正町、窪川町、須崎地区)	母なる大地四万十の郷、水と森を考える事業として、緑化推進・木材PR活動として、一般の方に木の温もりや自然の緑の大切さを理解していただくために、所属各森林組合管内で苗木の無料配布や木工教室を行い、のべ500人が参加した。	四万十町	200,000	200,000
13	幡多	つつじの植樹	土佐清水ライオンズクラブ	土佐清水市総合公園内	土佐清水市内の公園整備のため、4月19日に土佐清水総合公園でツツジを250本植樹した。この公園を緑地公園の憩いの場として広く利用してもらえるような整備ができた。	土佐清水市	130,000	130,000
13団体13件							2,477,000	2,534,000

公募事業(森林の整備・緑化の推進)	合 計	4,372,000	4,605,000
-------------------	-----	-----------	-----------

※ 事業交付決定総額は、4,605千円。実績ベースでは総額4,372千円を交付した。

※ ★印森林の整備1の「松林再生事業」については、平成21年度公募事業へ申請され、交付決定されたが、平成21年3月内に事業が完了したため、当会の会計年度としての扱いは平成20年度事業としている。



森林の整備.5

アジロ自然の森整備事業

アジロ山の自然と環境を守る会

高知市朝倉己83-12

【募金事業の概要】

●事業日と場所

- ①植樹作業: 平成21年4月5日(のべ50名参加)
- ②遊歩道拡張: 5月16・17日、6月21日(のべ25名)
- ③ベンチ椅子づくり: 5月16・17日(のべ10名作成)
- ④桜の保育: 5月23・24日

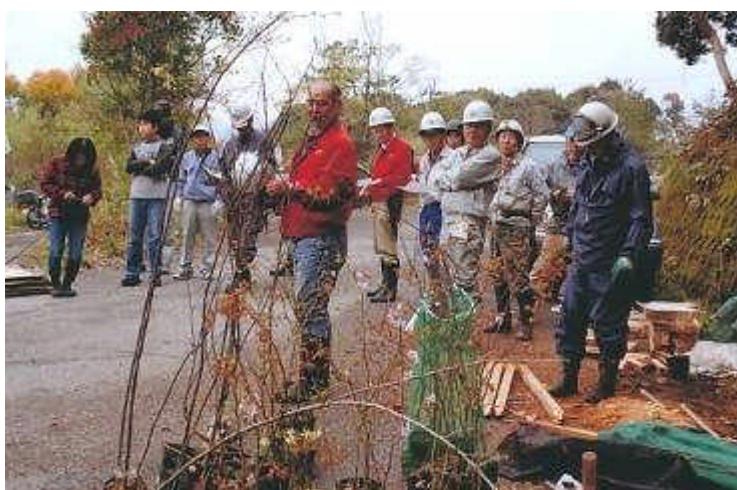
●目的

平成20年9月1日に高知県と「県有財産無償貸付契約書」を締結。アジロ山周辺の素晴らしい自然環境を後世に残し、不法投棄等のごみ問題を抱えている山から、高知市民や県民が訪れるこことできる美しい自然体験の場に再生することを目的とする。

●活動の概要

植樹は、遊歩道沿いへ160本(モミジ、ヤマザクラ、ヤマグリ、ヤマガキ)を丁寧に植樹した。遊歩道は、少し緩やかな道を新たに400m作り、山頂より岩場に沿って展望台まで下山するコース200mに20mmのロープを張り、体験型の遊歩道とし、安全ロープも張り、みんなが安心して森を一巡できるようにした。ベンチ・テーブル作りでは、分解して資材を担ぎあげるのに苦労した。また、桜の保育間伐を行い、「アジロ自然の森」で子どもや市民が安心して自然散策のできる環境整備の事業を行った。地域住民の参加はもちろん、森林ボランティアの支援を得て実

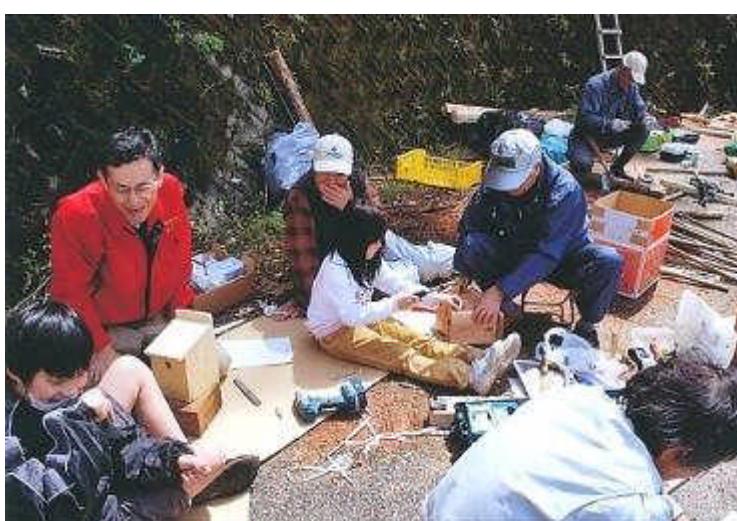
施することができた。



植樹(開会式で木の植え方を説明する)



植樹(スタッフが丁寧に指導)／間伐材を活用し、ベンチをつくる／完成したベンチに座る



森へかけるシジユウカラの巣箱づくり



鳶ヶ池中学校学校林を活用した森林環境教育

南国市立鳶ヶ池中学校PTA

南国市東崎530 南国市立鳶ヶ池中学校

【募金事業の概要】

- 事業日と場所 1年生:平成21年11月2回(鳶ヶ池中学校)、12月(学校林)、2年生:1回(森林総合センター「情報交流館」)、3年生:学校林現地(市予算)

●各学年のねらい

各学年で取り組みのねらいを設けて実施する。

1年:親しむ→2年:活用する→3年:保全・整備

●活動の概要

【1年生の具体的な取り組み】

テーマ:学校林での活動をとおして、森林に親しみ、
身近な存在としての意識を持つ

- ①60余年の学校林の歴史を、OBや保護者、地域の方々の協力を得て、伝統としての学校林活動の重みを認識することで学校林の価値に気付く、②ツリーカラーミング、③森林と野生生物の関係や自然環境の変化について知る、④ネイチャーゲーム・学校林内探索活動(遊歩道整備を含む)等、学校林を活用して自然とふれあう機会づくり、⑤教科(技術)の授業において学校林の木材を利用した作品づくり

【2年生の具体的な取り組み】

テーマ:学校林の樹木を活用した木工作品づくり(森林の有効な活かし方)

- ①(1年生と同じ)、②学校林の樹木(除伐材等)を利用して、バードカービングを行い、学校へ展示し、卒業時に記念品として持ち帰る。③森林のはたらきや森林管理の実態について学び、より有効な森林の活用方法について考える。



▲森林が持つ機能の学習(1年生)

【3年生】

学校林の整備と保全をテーマに取り組む。学校林での1泊2日の合宿等を実施(経費は市の予算で対応(緑の募金事業外))



▲林内の雑木を除伐(1年生)



▲学校林にある「清風荘」前でこの日の作業の説明を受ける生徒達(1年生)



▲バードカービングに挑戦(2年生)



▲学校林整備・枝打ちを体験(3年生)

森林の整備.1

松林再生事業

室戸市元甲 1981 番地
脇地常会

【募金事業の概要】

- 事業日 平成21年3月22日
- 事業場所 室戸市元脇地国道55号線北沿い
- 目的 かつて脇地海岸一帯は黒松が植えられ、防風潮林として保護されていたが、国道55号線建設時に伐採され、保安林も解除された。また、国道の両脇に残った松林は、松くい虫の被害で衰退している。以前と比べ、松林に守られていた居住区では、台風時の強風や大波の振動が強く感じるようになった。そこで、防災・環境・景観保全の視点から早急に松林再生に取り組むことを目的とする。

●活動の概要

元地区の住民90名が参加し、抵抗性の黒松の苗木850本を植樹した。当日は小雨の降る中、住民が力を合わせて作業を行った。



▲カッパを着ての作業



▲地区住民が大勢参加・協力して植えた

森林の整備.2

妙見山森林復元事業

安芸市下山 628-18
共生森の会

【募金事業の概要】

- 事業日 平成21年5月31日(植樹)
- 事業場所 安芸市穴内スス原「妙見山」
- 目的 妙見山森林復元事業を実施して自然の森づくりを行い、自然の森に妙見山を回復させるとともに、「千年の森」づくりに取り組み、未来に役立つ森づくりに貢献する。

●活動の概要

5月31日、17種類の苗木333本を植樹した。当日は、しっかりと耕し、植えた苗木の根元の周りへは、乾燥防止としてかんな屑と枯れた雑草を置き、たっぷりと水やりをした。参加者の最高齢92歳、安芸市の広報誌でも募集し、会員、安芸市担当を含め16名で実施した。

植樹のための準備として、草刈り、植樹場所の草根除去と穴掘作業を行うとともに、害獣侵入防止柵の修復をした。



▲植樹後は、かんな屑や刈り草をかけ水やりをした



▲今回の参加者

森林の整備.3

ふれあい21世紀の森づくり事業

香美市土佐山田町大平80番地
高知県立森林研修センター『情報交流館』内
物部川21世紀の森と水の会

【募金事業の概要】

- 事業日 ①植樹:3回(平成21年3月17・20・21日)、②間伐:1回(11月14日)
- 事業場所 ①物部町別府山契約国有林、②物部町ヒカリ契約国有林
- 目的 ~森・川・里・海はみんなで守るもの~という視点に立ち、流域の連携により、大切な森をみんなで守り、流域を再生するための活動を行う。

●活動の概要

3月には地ごしらえと植樹、11月には山の手入れ間伐体験を実施した。3月は、JA土佐香美、JA長岡、香美市商工会、高知大、高知工科大、住友共同電力、物部森林組合、国土交通省等のべ114人が参加。11月は22名が参加して、幅広い流域関係者の協力により取り組みを行うことができた。



▲ケヤキの苗木を植樹



▲手鋸による間伐作業

森林の整備.6

環境学習「すくすくの森」における林内整備

高知市本町5丁目2番18号
学校法人若草幼稚園

【募金事業の概要】

- 事業日 平成21年11月19日と24日
- 事業場所 環境学習林すくすくの森(高知市朝倉鏡岩己)
- 目的 地元住民等の手による間伐等をとおして、「すくすくの森」の林内を明るくし、下層植生を豊かにすることで、都市近郊の里山林、そして鏡川流域における生き物の豊富な森として地域社会に印象づけること。「すくすくの森」は、園が森のようちえんの実践をしている環境学習の場である。

●活動の概要

保護者の協力を得ながら、園児や大人が入林しやすい、明るい森林環境整備を行って植物の多様性を高め、堆肥化することで自然の環境(物質循環)を学べる環境づくりを行った。



▲「すくすくの森」は「森のようちえん」の実践フィールド



▲保護者の協力を得て、森の整備を行った

四万十流域間伐推進事業

高岡郡四万十町琴平町 3-14
四万十樵塾

【募金事業の概要】

- 事業日 平成21年4月から11月まで毎月1回 実施
- 事業場所 高岡郡四万十町市ノ又
- 目的 四万十川流域において、森林ボランティア活動として、四万十森林管理署と協定を結んだ「ふれあいの森」において、間伐等を推進し、水源かん養、土砂流出防止等の森林環境の維持保全に努めることで公益の増進に寄与する。

●活動の概要

4月から11月までにのべ6日間、会員による作業を実施し、1. 1haの間伐を実施した。

「四万十樵養成塾」で間伐ボランティアを養成しているが、参加者が固定され減少しているのが今後の課題。

間伐場所まで道具を持って登る



まだ経験が浅いメンバーにはサポートについて安全を確保



ふるさとの森づくり事業

高知市大津乙 1000-1
高知葉山会

【募金事業の概要】

- 事業日 平成21年4月19日
- 事業場所 高岡郡津野町北山地区
- 目的 ふるさと葉山のために、会員が主体となって「ふるさと葉山の森づくり」を行うこと。昨年度に引き続き、2回目の実施。

●活動の概要

4月19日、会員23名、町から津野町長をはじめ役場職員あわせて7名にも参加いただき、総勢30名で記念植樹を実施。場所は、風力発電・林道開設に伴い発生した残土で埋め立て造成された土地。まず、記念式典を行い、会長が挨拶をし、町長津野町副議長等から祝辞をいただき、続いて、記念植樹を行った。今回植えたのは、ドウダンツツジやオニツツジ、ヒメシャラ等150本。記念碑を設置した。



▲風車の連なる場所での植樹



▲今回の参加者で記念撮影

緑化の推進.1

むろと2000本桜の会 桜育成事業

室戸市室戸岬町 2946-1

むろと2000本桜の会

【募金事業の概要】

- 事業日 平成21年4月～10月にのべ10日間
- 事業場所 室戸広域公園
- 目的 平成16年2月、約1600本の桜植樹祭を行った室戸広域公園にて、桜の管理、育成、捕食等をし、桜の名所となることを目指す。また、下草刈り等の維持管理作業を通じて、広域公園に愛着と親しみを持ってもらい、広域公園が市民の憩いの場となることを目的とする。

●活動の概要

会員を中心に、草刈りや桜の木への施肥等の維持管理作業を行った。8月以外ほぼ毎月実施。



▲美しい花を咲かせるようになった



▲桜の補植作業



▲草刈りの実施

緑化の推進.2

高知子ども森林インストラクター養成講座

香美市土佐山田町大平 80 番地

高知県立森林研修センター『情報交流館』内

高知子ども森林インストラクター養成講座運営委員会

【募金事業の概要】

- 事業日 平成21年4～11月（講座11回実施）
- 事業場所 高知県立森林総合センター（香美市）、せせらぎの郷（安田町）、高知市土佐山地区の森林、室戸市青少年自然の家など
- 目的 子どもたちが森林に理解を深めながら、学校や地域の森林学習におけるリーダーとなる人材を養成すること

●活動の概要

ほぼ月1回「森林環境・生態」と「木の有効利用」に関する講座を実施。里山や樹木観察、間伐作業の見学や体験、木工クラフト体験等。特に、第5・6回講座は安田町での夏のキャンプで、水生昆虫や馬路村千本山の森と巨木観察等、森と川の学習と、ゆず加工場見学や田舎料理体験等山村の暮らしと産業を学習した。受講生19名が高知大学生らスタッフの運営で、年間を通じて各分野の講座を受講した。



▲[第4回講座]里山樹木図鑑づくり(樹木観察後に作成)



▲[第8回講座]林業見学(伐採方法の説明後間伐体験)

緑化の推進.3

みんなでやろう 自然再生の取り組みを **三嶺山系シカの被害防止活動**

香南市野市町大谷
三嶺の森をまもるみんなの会

【募金事業の概要】

- 事業日 平成21年①4月11日、②5月30日
- 事業場所 三嶺山系カヤハゲと葦生越周辺
- 目的 ニホンジカの食害により、危機に立つ三嶺の森を守り、次の世代に引き継ぐため、食害を防ぐための樹木へのネット巻きと下層植生を護るために防護柵の設置を行うことで、県民への啓発と少しでも自然再生を手助けすることを目的とする。

●活動の概要

県民に対するシカの被害についての啓発活動を兼ねた、シカ食害防護ネット張り活動を、2回実施した。中部森林管理署や流域3市(香美市・香南市・高知市)の協力を得て、高知大学・高知工科大学、流域関係団体の参加を得て、4月は総勢105名、5月は161名で実施した。市長や市議会からも参加があり、マスコミも取材でとりあげてくれた。



▲防護柵のポールやネットを持って目的地へ登山



▲力をあわせて植生の防護柵を張っていく

緑化の推進.5

森の仕事発見学習

高知市本町 4-1-35
高知県林業改良普及協会

【募金事業の概要】

- 事業日 平成21年8月7日
- 事業場所 高知県立甫喜ヶ峰森林公園及び高性能機械の作業地(香美市繁藤)
- 目的 森林・林業(山)での作業現場(仕事)や、森林の構成状況と環境への役割について親子で学習し、森とふれあう体験により、森林に対する理解を深め、豊かな情操と森林愛護の思想を培う。

●活動の概要

午前中は、甫喜ヶ峰森林公園で樹木を観察し、草木の名前を学習し、植物採取と標本の作り方を学んで、実際に木や草の葉の標本作品を作った。午後は、繁藤穴内川の穴内ダムや上流の林業作業場において、森林の仕組みと役割、森と水の関わりを学習し、高性能林業機械による山の作業を実際に見ながら、森の仕事発見学習をした。参加者30名。



▲木や草の葉っぱの標本をつくる子ども達



▲高性能林業作業機械を見るのは初めて

緑化の推進.6

布師田ふれあい広場整備事業

高知市鷹匠町2丁目 1-43

布師田の未来を考える会

【募金事業の概要】

- 事業日 平成21年5月13日～7月3日
- 事業場所 布師田ふれあい広場(高知市)
- 目的 布師田地区に子どもから高齢者まで幅広い年齢層が集える広場づくりを行う。

●活動の概要

この広場は、緑化推進・里山保全学習、世代間交流、災害時の避難場所などの視点をもつ目的広場として布師田地区住民と高知市の協働により、平成18年度から整備にあたってきた。

今年度は既に設置している東屋の加工と布師田地域の史跡案内版の設置を実施した。材料は間伐材を用いて、高知工業高校の生徒達を中心に協力いただいたて作製し、地域住民が協力した。



▲高知工業高校の生徒さんが中心になって作成



▲東屋に住民が集える木のオープンデッキを作った

緑化の推進.7

高ノ森の宝の山を守る会記念植樹

高知市鷹匠町2丁目 1-43

高ノ森の宝の山を守る会

【募金事業の概要】

- 事業日 平成21年2月28日
- 事業場所 高ノ森(高知市高ノ森2305-4)
- 目的 旭地区の小学校にて行われた高学年を対象とする環境学習をとおして、芽生えた「自分たちの宝の山である高ノ森の環境を守りたい」という子ども達の自発的な想い、活動を守り育てる。

●活動の概要

2月28日に高知市高ノ森に通じる道路脇に桜の苗木50本の植樹を行った。当日は、旭小学校の5年生と横内小学校の6年生あわせて192名の児童と、保護者や地域住民その他68名が参加した。



▲たくさんの子ども達が参加しました



▲地域住民や保護者も協力して植樹

緑化の推進.8

バイオ資源で地球を救おう!(西日本からMOTTANAを発信!)

吾川郡いの町天王北 4-6-4
NPO法人土佐の森・救援隊

【募金事業の概要】

- 事業日 平成21年10月10日
- 事業場所 吾川郡いの町長沢「未来の森」
- 目的 次世代を持つ子ども達等を対象に、森林環境改善のために行われている森林整備(間伐)などにより発生する「バイオ資源(現地発生材・林地残材)」を徹底的に利活用し、そのことが二酸化炭素吸収など地球環境の改善にどのような意味をもつのかを、実践活動を通じて体験・体感するため。

●活動の概要

夏休みに1泊2日で行う予定だったが、参加者の確保が難しく、変更して10月10日に実施。森林環境学習、間伐体験、林地残材集積・搬出・運搬活動、植樹、木工教室(間伐材のマイ箸づくり)、ツリーイングを参加した子どもが体験し、森林の役割や木質資源の活用を学んだ。



▲手鋸による間伐体験



▲林地から材を搬出する

緑化の推進.9

日高村総合運動公園周辺等植樹事業

高岡郡日高村本郷 61-1
日高村グラウンドワーク推進協議会

【募金事業の概要】

- 事業日 平成21年11月29日
- 事業場所 日高村総合運動公園
- 目的 県下最大の内陸型湿地で自然の宝庫である日下川調整池に隣接する日高村総合運動公園の周辺に紅葉等も楽しめるイロハモミジを植樹し、緑化を促進すること

●活動の概要

公園の西進入路沿いにおいて、イロハモミジ(高さ約2m)を36本植樹した。参加者は、会員や地域住民、小学生ら18名。



▲木の植え方の説明を聞く子ども達



▲力をあわせて植えた

横倉山のヨコグラノキから学ぶこと

高岡郡越知町越知丙 737-12

横倉山自然の森博物館内

横倉山自然の森博物館友の会

【募金事業の概要】

●事業日 平成21年10月12日～11月21日

●事業場所 横倉山

●目的 横倉山を訪れる多くの方々が、大地が育む森とその機能について学べる環境づくりを行い、地域から山の緑の大切さを発信すること。

●活動の概要

豊かな植層を生んだ山の地質や、牧野富太郎博士が発見・命名し、今なお現存するヨコグラノキ。のべ48名が参加し、観察会と看板設置を実施。参画した小学生達は、遊歩道でむき出しになった木の根を守るため、腐葉土を袋につめて山に登った。合せて、ヨコグラノキを校庭に植樹するため、種を採取して苗木を育てることを試みることにした。また、ヨコグラノキの基準木解説と地質解説板を設置し、地元住民から森や緑に対する認識を高める機会となった。



▲観察会でヨコグラノキを見上げる子ども達



▲横倉山の案内看板を2ヶ所に設置

浦分地区の緑化

高岡郡四万十町興津浦分 2055

興津浦分集会所

興津浦分部落会

【募金事業の概要】

●事業日 平成21年4月10日

●事業場所 浦分興洋公園(四万十町興津)

●目的 現在ではグランドとして使用されなくなったこの公園では、草が繁茂する等管理が必要となっている。そこで、部落民が花見等のできる地域の憩いの場として活用できる公園づくりをし、いろいろな行事で使用するため。

●活動の概要

4月10日、地区住民37名が参加し、桜(ソメイヨシノ)100本とヤマモモ60本を植えた。



▲植樹のようす



▲今回の参加者

森と水のふれあい教室

高岡郡四万十町替坂本5

高知県森連高幡共販所内

母なる大地四万十の郷水と森を考える会

【募金事業の概要】

●事業日 平成21年7月25日～11月15日

●事業場所 須崎地区、幡東、窪川町、四万十中央、大正町の森林組合

●目的 一般の多くの人々に木とのふれあいをもってもらい、木のもつ良さ、森林のもつ重要な役割を理解していただくため。

●活動の概要

5つの森林組合が特色のある行事に取り組んだ。須崎地区森林組合と幡東森林組合では、産業祭で各250本の苗木の無料配布を行い、窪川町森林組合では、夏休みに木工教室を開催。四万十中央森林組合と大正町森林組合では、産業祭で苗木の無料配布と木工教室を実施した。苗木の配布をとおして地域の緑化の推進に貢献し、木工教室では親子のふれあいと自由に作品を作り、木に親しんだ。



▲幡東森林組合による苗木の無料配布(10月24日)



▲四万十中央森林組合の木工教室(11月15日)

つつじの植樹

土佐清水市寿町 11-16

商工会館2階

土佐清水市ライオンズクラブ

【募金事業の概要】

●事業日 平成21年4月19日

●事業場所 土佐清水総合公園(土佐清水市清水字笹原谷)

●目的 緑地公園の緑化整備

●活動の概要

土佐清水総合公園に、ヒラドツツジ250本をクラブ会員で植栽して地元の緑化環境整備を行った。



▲ヒラドツツジの植栽のようす



▲植栽のようす

※「森と緑の会だより2009冬号(2009(平成21)年12月12日発行)」掲載記事

平成21年度緑の募金公募事業で助成した「若草幼稚園」と「南国市立鳶ヶ池中学校生徒会」の2団体からも。緑の募金で活動させていただいたお礼に、と募金に取り組んでくれました。集まったお金は「緑の募金」に寄附してくださいました。



▲若草幼稚園児が直接募金箱へ。



▲鳶ヶ池中学校では全校集会にて生徒会から寄附

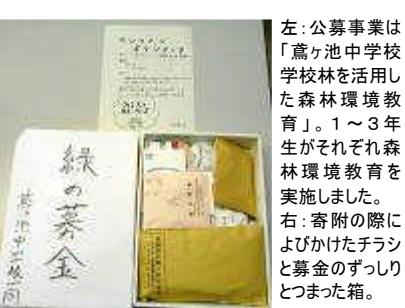
緑の募金、「使うことから「集める」ことへ

若草幼稚園からバザーで自分達が販売した売上金から募金をしたいと連絡をいただき、平成21年12月16日(水)、同園を訪れました。ホールで一列になって園児一人一人が募金箱に募金をしてくれました。さらに、みんなで元気いっぱいの大合唱。クリスマス間近で、素敵なクリスマスプレゼントをいただいたかのよう、とても心があたたかくなりました。



左:理事長から一人ひとりの胸に緑の羽根をつけた。
右:公募事業は「すくすくの森整備事業」。保護者が中心となって森を整備した。

2月1日(月)、今度は鳶ヶ池中学校生徒会から。学校をあげて緑の募金に取り組んだとの連絡をいただき、中学校を訪れました。川合理事長が受け取ると、あやうく箱を落としそうなほどみんなの気持ちがずつしりとつまっていました。どちらも、公募事業に申請して活動を行っており、そのお返しをしたいとの気持ちで取り組んでくれたとのことです。



左:公募事業は「鳶ヶ池中学校学校林を活用した森林環境教育」。1~3年生がそれぞれ森林環境教育を実施しました。
右:寄附の際によびかけたチラシと募金のずつしりとつまつた箱。

両方に出席した川合理事長、横山事務局長ともどもいわく、涙が出るほどうれしかったとのこと。みなさん、本当にありがとうございました。

当会の会報「森と緑の会だより」で紹介していますが、この公募事業で「緑の募金」を活用して活動できた御礼にと、子ども達が募金活動に取り組んでくれたといううれしいニュースがありました。左の2団体以外にも、公募事業をとおして、行事中や団体のメンバー間で、募金に取り組んだという報告をいただいています。

このように、県民のみなさまからの寄附で、高知県内の地域や団体の取り組みが活発になります。また、その取り組みに参加したり、募金の活用先を知ることで、募金に協力したいという気持ちが広がり、また募金があつまり、そして活用される……。そんな循環が生まれれば、郷土の森をもつと元気にできると思います。

だれでもできる森づくり。緑の募金はあなたから森へのプレゼント。



- ・緑の募金に関するお問い合わせ
- ・緑の募金事業に関するお問い合わせ

公益社団法人 高知県森と緑の会

〒780-0870 高知市本町5丁目1番50号 中沢ビル4階

TEL:088-855-3905 FAX:088-855-3906

E-mail info@moritomidori.com

ホームページ <http://www.moritomidori.com/>

